

大学院生のご紹介

第11期大学院生 竹内 亮介
(第9期OB)

OB・OGの皆様、こんにちは。小野晃典研究会第9期OBで、現在、博士課程1年の竹内亮介です。2015年度は、2名の修士課程1年生を迎え、小野ゼミ大学院生は全体で7名となりました。本稿では、現在の小野ゼミの7名の大学院生の簡単なプロフィールと研究活動をOB・OGの皆様にご紹介申し上げます。

菊盛 真衣 (きくもり まい, 第7期OG・第9期大学院生)

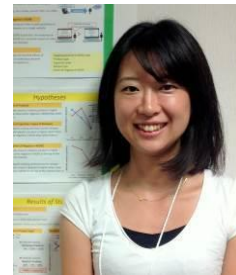
現在の学年：博士課程3年

研究テーマ：「eクチコミが消費者行動に与える影響」

インターネット上のクチコミが消費者心理・行動にいかなる影響を与えるのかを探究しています。

今年の成果：2015 ICAMA Best Doctoral Consortium Award (“How Do Consumers Evaluate Familiar versus Unfamiliar Brands with negative eWOM?”に対して)、他。

最後に一言：今年は博士課程の集大成として学位論文の執筆に励んできました。それでもまだまだ半人前！これからも一層精進していきますので、皆様叱咤激励のほど宜しくお願いいたします！



白石 秀壽 (しろいし ひでとし, 第9期大学院生)

現在の学年：博士課程3年

研究テーマ：「フランチャイズ・システムの制度的補完性と多様性」

現在、組織の経済学の観点から、フランチャイズ・システムにおける店舗展開や契約設計の問題に取り組んでいます。

今年の成果：「フランチャイズ・チェーンのチャネル選択問題：フランチャイズ店/直営店比率のパネルデータ分析」、『流通研究』、近刊、他。

最後に一言：企業を対象として実証研究を行っています。是非OBの皆様から、実務に関するナマの声をお聞きしたいです！



竹内 亮介 (たけうち りょうすけ, 第9期OB・第11期大学院生)

現在の学年：博士課程1年

研究テーマ：「広告研究における消費者情報処理アプローチ」

消費者の広告情報処理について研究を進めています。

今年の成果：“Advertising Distinctiveness and Consumer Memory in Competitive Ad Environments,” *Asia Marketing Journal*, Vol.17, No.2, pp.1-13.

最後に一言：博士論文の完成に向けて、勉学に励んでまいります。



中村 世名 (なかむら せな, 第 10 期 OB・第 12 期大学院生)

現在の学年：修士課程 2 年

研究テーマ：「競争パターンと企業成果の探究」

製品競争における企業間の市場を巡る相互作用に着目し、企業の競争パターンの規定要因とその成果への影響を研究しています。

今年の成果：Sena Nakamura, “Threat or Opportunity? Incumbents’ Competitive Response to New Products,” *Proceedings of the 2015 Annual Conference of Society for Marketing Advances*, pp.314-315, 他.

最後に一言：企業の戦略を研究しているので、実務家の皆様のお話を伺わせていただけましたら幸いです。



王 皓瑩 (おう こうえい, 第 12 期大学院生)

現在の学年：修士課程 2 年

研究テーマ：「消費者の独自性が自分のクチコミ発信意図へ与える影響」

今年の成果：“Are High-Need for Uniqueness Consumers Willing to or not to Recommend Products? Considering Type of Products and Receivers” presented at 15th International Marketing Trends Conference (Venice, Italy).

最後に一言：諦めずに、修士論文が完成するまで頑張りますよ！！！！！！



石井 隆太 (いしい りゅうた, 第 10 期 OB・第 13 期大学院生)

現在の学年：修士課程 1 年

研究テーマ：「デュアル・チャネルの選択と組織成果」

企業が直接チャネルと間接チャネルの両方を設置するのはなぜか、そうしたチャネル選択が組織成果にどのような影響を及ぼすのかについて研究しています。

今年の成果：2015 ICAMA Honorable Mention (“The Impacts of the Use of Dual Distribution on Interfirm Performance”に対して), 他.

最後に一言：学部同期の中村君に遅れること 1 年、念願叶って大学院進学を果たしました。引き続き、小野ゼミでお世話になりたいと思います。



廖 舒忻 (りょう じょきん, 第 13 期大学院生)

現在の学年：修士課程 1 年

研究テーマ：「同伴者が消費者の意思決定に及ぼす影響：同伴者が消費者との個人関係に注目して」

購買場面に存在する同伴者は、どのように消費者の意思決定に影響を及ぼすか、また、その影響の強さは、同伴者が消費者との具体的な個人関係に左右されるのかについて研究しています。

今年の成果：まだ頑張っています。

最後に一言：留学生として小野ゼミに入らせていただいたこの一年間に、色々ご指導をいただきました。今後とも宜しくお願い致します。



以下では、昨年4月からの1年間における大学院生の主たる学会活動をご紹介します。

2015年4月：日本商業学会関東部会（於早稲田大学）

報告テーマ：石井隆太, 「デュアル・チャネルと組織間成果：関係論によるアプローチ」



2015年5月：日本商業学会全国大会（於香川大学）

報告テーマ：白石秀壽, 「フランチャイズ契約におけるロイヤルティの2つの効果：小売・サービス業における実証分析」

中村世名, 「新製品に対する既存企業の競争的反応戦略：その意思決定に影響を及ぼす2つの動機に着目して」



2015年7月：日本商業学会関東部会（於専修大学）

報告テーマ：中村世名, 「脅威と機会に対する既存企業の競争的反応：その駆動要因の探究」



2015年10月：2015 International Conference of Asian Marketing Associations (Tokyo, Japan)

報告テーマ：Mai Kikumori, “How Do Consumer Evaluate Familiar versus Unfamiliar Brands with Negative eWOM?” (2015 ICAMA Best Doctoral Consortium Award)

Mai Kikumori, “Different Effects of Simultaneous Expose to Positive and Negative eWOM Messages Between Search and Experience Goods”

Sena Nakamura, “How Do Firms Response to Competitive New Products? Evidence from the Soft Drinks Industry in Japan”

Ryuta Ishii, “The Moderating Role of Dual Distribution: The Impacts of Interfirm Resources on Channel Performance” (2015 ICAMA Honorable Mention)



2015年11月：2015 Annual Conference of Society for Marketing Advances (San Antonio, USA)

報告テーマ：Mai Kikumori and Akinori Ono, “When Do Negative E-WOM Messages Enhance Product Evaluation?”

Sena Nakamura, “Threat or Opportunity? Incumbents’ Competitive Responses to New Products”

Ryuta Ishii, “The Impacts of the Use of Dual Distribution on Interfirm Performance”



2016年1月：International Marketing Trends Conference 2016 (Venice, Italy)

報告テーマ：Haoying Wang, Akinori Ono, and Mai Kikumori, “Are High-Need for Uniqueness Consumers Willing to or Not to Recommend Products? Considering Types of the Products and the Receivers”



来年度は、第13期生の川村澄明さんと留学生の崔新宇くんを迎え、小野ゼミ大学院生は、変わらぬ賑やかさで研究に励めることと思います。毎週金曜日の大学院ゼミ（1～3限）と学部ゼミ（4限～）に、是非ご来訪ください。どうぞ宜しくお願いいたします。

